

## 2025年度 公立大学法人大阪第6回役員会議事要旨

日時：2025年9月10日（水）9時30分～11時00分

場所：UR森之宮ビル3階 役員会議室

構成員：福島理事長、櫻木副理事長、酒井理事、丸尾理事、高橋理事、徳永理事、重松理事、  
中村理事、宮部理事、帯野理事、藤本理事、藤沢理事(欠席)

監事：白井監事、前田監事

陪席者：露口本部事務機構長、大久保本部事務機構次長、石井本部事務機構次長、富宅阿倍野  
キャンパス事務局長、柴山企画総括部長、石田総務部長、森岡企画部長、肥田人事戦  
略部長、吉岡財務部長、船野学長室長、寺田阿倍野キャンパス事務局事務部長

### 【審議事項】

#### 1 2026年度予算編成方針(案)について

担当理事および財務担当部長より、2026年度予算編成方針(案)について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

<主な意見等>

- ・予算策定期間が長いので、期間を短縮することで策定コストを圧縮し、より社会情勢を踏まえた予算になるのではないか。  
→実質的な現場作業は2か月であり、柔軟な運用を行っている。
- ・重点予算は柔軟に対応しているか。  
→戦略予算は随時アップデートしており、柔軟に運用している。
- ・人件費は2026年度中に削減を行うという方針で良いのか。  
→人件費削減については段階的に進める方針である。
- ・利益相反マネジメントの強化が必要ではないか。  
→随時申請制度や点検体制を整備中である。

### 【報告事項】

#### 1 国際化戦略方針について

担当副学長より、国際化戦略方針について報告があった。

<主な意見等>

- ・ロコミによる広報や支援体制の充実が重要である。  
→体制の整備と継続的な広報の必要性を認識している。
- ・外国人教員の給与は国際水準で検討すべきである。  
→現状は日本人と同一水準だが、若手層を中心に採用し、環境面で魅力を高める方針である。
- ・国際化は大阪の起爆剤になる。自信を持って取り組む前向きな姿勢が重要である。

#### 2 ダイバーシティ推進方針について

担当副学長より、ダイバーシティ推進方針について報告があった。

<主な意見等>

- ・留学生対応も含めた支援体制の強化が必要である。

### 3 創薬科学研究科の設置認可について

担当理事より、創薬科学研究科の設置認可について報告があった。

<主な意見等>

- ・薬剤師資格取得が目的ではないのか。  
→研究志向の教育を目的としており、薬剤師資格とは別である。
- ・6年制卒業者の進学は可能か。  
→博士後期課程への進学が可能である。

#### 【その他事項】

##### 1 森之宮キャンパス開設記念式典及び記念講演会について

総務部長より、森之宮キャンパス開設記念式典及び記念講演会について報告があった。

#### 【備考】

オンライン会議システムを併用した役員会は、適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認しており、終始異状なく議題の審議等を終了した。

以 上